

3 2014 年度予算の主な事業

(1) 新5ヵ年計画における主な取り組み

将来を担う人が育つまちをつくる

待機児童解消対策事業

11 億 959 万円 (17 ページ)

民間保育所や認定こども園の整備の支援等により 2015 年 4 月までに 293 人の定員増を図ります。

地域における子育て相談充実事業

2 億 1,425 万円 (18 ページ)

在宅子育て家庭を対象に、近所の保育園で簡単な相談や子育てに関する様々な情報を得られる仕組みをつくります。

鶴川第一小学校改築事業

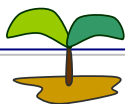
11 億 4,484 万円 (20 ページ)

鶴川第一小学校改築の校舎棟改築工事（1 年度目）等を進めます。

(仮称) 忠生図書館整備事業

2 億 1,306 万円 (21 ページ)

2015 年 5 月の開館（忠生市民センター内）に向け、書架および図書の購入等を進めます。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

安心して生活できるまちをつくる

地域高齢者支援事業

1 億 1,097 万円 (22 ページ)

認知症高齢者の早期診断・早期対応を目的に、認知症初期支援事業を新たに実施します。

市民協働・地区協議会支援事業

370 万円 (23 ページ)

協働による地域社会づくりを推進するため、「地区協議会」の設立を支援します。

忠生市民センター建替事業

10 億 944 万円 (24 ページ)

図書館や乳幼児健診の設備を備えた地域の拠点として建替えを進めます。

成瀬コミュニティセンター建替事業

2 億 6,337 万円 (25 ページ)

成瀬コミュニティセンターを建替え・改修します。

玉川学園コミュニティセンター建替事業

969 万円 (26 ページ)

玉川学園コミュニティセンターのあり方を地域住民とともに検討し、建替えを進めます。

災害対策

消えないまちだ君（災害・停電時LED街路灯）整備促進事業

5,339 万円 (27 ページ)

停電時に自動点灯する街路灯『消えないまちだ君』の整備を進めます。

緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業

1 億 6,890 万円 (28 ページ)

「緊急輸送道路」の沿道建築物の耐震化を促進します。

住宅耐震促進事業

2 億 1,418 万円 (29 ページ)

木造住宅や分譲マンションの耐震診断等を支援し、住宅の耐震化を促進します。

污水管渠地震対策事業

2 億 6,000 万円 (30 ページ)

污水管の耐震化、避難施設にマンホールトイレシステムを整備します。

雨水管渠整備事業

4 億 2,480 万円 (31 ページ)

浸水被害を軽減するため、雨水管を整備します。

防災行政無線デジタル化事業

3 億 132 万円 (32 ページ)

既存の防災行政無線を順次デジタル化するとともに子局の増設などを行い、防災行政無線の再構築を進めます。



※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

賑わいのあるまちをつくる

中心市街地整備事業 4,128 万円 (33 ページ)

町田駅周辺の魅力を向上させるため、中心市街地の整備について検討を進めます。

創業支援・企業誘致推進事業 4,447 万円 (34 ページ)

市内経済の活性化を図るため、地域中小企業者への支援や企業誘致を推進します。

にぎわい空間創出推進事業 4,131 万円 (35 ページ)

市庁舎跡地を芝生広場として活用し、イベント開催や一般開放をすることで、新たなにぎわいの創出を図ります。



暮らしやすいまちをつくる

循環型施設整備事業 3 億 2,800 万円 (36 ページ)

循環型社会の形成に向け、ごみの資源化施設の整備を進めます。

鶴川駅周辺街づくり事業 1,389 万円 (39 ページ)

鶴川駅前広場や周辺の土地利用など具体的な整備内容の検討を進めます。

地域コミュニティバス運行事業 1 億 3,050 万円 (40 ページ)

玉川学園地区南ルートの運行開始に向けて、道路・バス停等を整備します。



(2) その他の取り組み

胃がんリスク検診（ABC検診）の拡充 1 億 9,616 万円 (41 ページ)

胃がん等の予防を推進するため、ヘリコバクター・ピロリ菌等検査を実施します。

臨時福祉給付金

・子育て世帯臨時特例給付金給付事業 15 億 3,589 万円 (42 ページ)

消費税増税にともなう低所得者の負担緩和等を目的として、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金を支給します。

町田市民ホール改修事業 5 億 1,392 万円 (44 ページ)

利用者の安全性の確保や利便性向上のための大規模改修工事を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件 名	待機児童解消対策事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,109,591		0	824,364	53,500	0	231,727

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 295～298 ページ

町田市は、保育サービスの充実と待機児童の早期解消に取り組むため、2013 年 9 月に見直した「町田市保育サービス 3 ヶ年計画(2012～2014 年度)」に基づき、保育所等の整備を進めています。

2014 年度は、①20 年間期間限定認可保育所を含む民間保育所の整備支援、②認定こども園の整備支援、③家庭的保育者の増員によって、計 293 人の定員増を図ります。

【主な事業の内容・事業費・特定財源】

①民間保育所の整備支援 332,819 千円(主な特定財源 子育て支援対策臨時特例交付金 172,832 千円)

主な事業内容	定員	定員増	開所予定	事業費(千円)
20年間期間限定認可保育所＜新築型＞への整備費補助 (2013～2014年度債務負担行為事業)	100人×1園	100人	2014年10月	30,000
20年間期間限定認可保育所＜新築型＞への賃借料補助 (2013～2034年度債務負担行為事業)				9,000
20年間期間限定認可保育所＜低年齢児＞への整備費補助 (2013～2014年度債務負担行為事業)	30人×1園	30人	2014年10月	20,000
20年間期間限定認可保育所＜低年齢児＞への賃借料補助 (2013～2034年度債務負担行為事業)				8,000
既存保育所への増改築整備費補助	89→135人	46人	2015年4月	80,364
分園の整備費補助	26人×1園	26人	2015年4月	13,125
分園の賃借料補助(2014～2034年度債務負担行為事業)				4,000
合計		202人		164,489

②認定こども園の整備支援 645,667 千円(主な特定財源 子育て支援対策臨時特例交付金 570,786 千円)

事業内容	定員	定員増	開所予定	事業費(千円)
(仮称)さくらん認定こども園への整備費補助 (2013～2014年度債務負担行為事業)	28人	28人	2015年4月	398,465
(仮称)町田自然認定こども園への整備費補助 (2013～2014年度債務負担行為事業)	31人	31人	2015年4月	121,722
幼保連携認定こども園への整備費補助	22人	22人	2015年4月	125,480
合計		81人		645,667

③家庭的保育者の増員(3歳未満児対象) 131,105 千円(特定財源 家庭的保育事業費補助金 80,746 千円)

主な事業内容	定員	定員増	開始予定	事業費(千円)
家庭的保育者の増員 2名	5人×2名	10人	2015年4月	7,982

①から③の取り組みによる定員増:293 人



問い合わせ先	子ども生活部 子育て支援課長 小池	電話	724-2138
--------	-------------------	----	----------

件 名	地域における子育て相談充実事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
214,253		0	90,172	0	178	123,903

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 293 ページ

町田市では、「安心して、楽しく子育てができるまち」を目指して、地域の子育て支援力を充実させるため、2014 年度から公・私立保育園による「マイ保育園（かかりつけ窓口）事業」を実施します。在宅子育て家庭がマイ保育園へ利用登録することで、家庭に孤立することなく、近所の保育園で簡単な相談や身長・体重の測定ができ、子育てに関する様々な情報を得られる仕組みを作ります。また、従来から実施している「子育てひろば事業」を拡充し、子育て家庭がより出掛けやすく相談しやすい環境を作ります。

これらの事業を推進するため、各公立保育園に地域子育て相談センターを設置します。

【事業の内容】

①マイ保育園事業

「子育ての楽しさをみんなで分かち合うために」「子育ての悩みをみんなで解決するために」「子育ての難しさをみんなで支えあうために」をテーマに、在宅子育て家庭が身近な保育園を「マイ保育園登録」することで、登録した保育園が在宅で子育てをしている家庭のパートナーとして、定期的な子育て情報の発信や育児相談など様々な支援を行います。

○マイ保育園登録で受けられるサービス

- ・地域の子育て情報やマイ保育園からのお知らせを定期的にお送りします
- ・育児相談が受けられます
- ・身長・体重などの发育状況が測定できます
- ・育児講座やイベントへの参加ができます
- ・0歳での新規登録の方へ、読書活動推進の一環として絵本をプレゼント

○マイ保育園の規模に応じて受けられるサービス

- ・園庭や室内の開放（施設によって時間が異なります）
- ・遊具や絵本の貸し出し
- ・親子で参加できるお楽しみイベント など

②地域子育て相談センター事業

公立保育園を再編し、5 箇所の地域子育て相談センターを設置します。各相談センターには保育士 4～5 名を配置し、さらに各相談センターに横断的に関わる保健師や嘱託の臨床心理士・ソーシャルワーカー、外部の相談援助の専門家も配置します。相談センターでは、出張子育て相談（アウトリーチ）等を中心に、地域の子育て関連施設への後方支援、専門部署との連携により、地域全体での子育て支援の充実を図ります。この他、地域で子育て支援に関わる人材を育成するための各種研修も実施します。



【主な事業費】

①マイ保育園事業

・マイ保育園登録事業委託 64 園(2014 年 10 月開園予定を含む)	18,512 千円
・子育てひろば事業補助(Ⅰ型 26 園、Ⅱ型 28 園、Ⅲ型 10 園)	115,960 千円
・マイ保育園整備事業補助 35 園、ベビースケール設置経費 69 園	21,934 千円
・登録カード・子育てマップ製作、0 歳児絵本購入費	4,055 千円

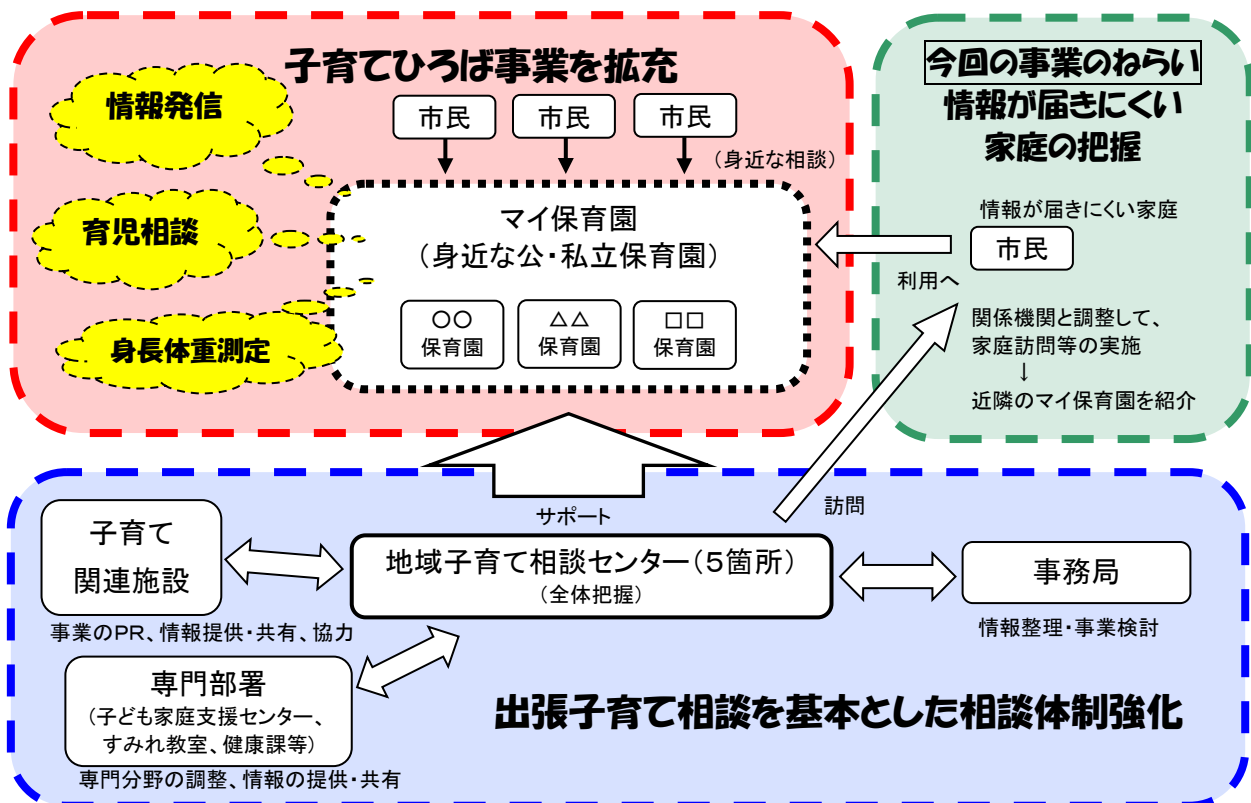
②地域子育て相談センター事業

嘱託員報酬、研修経費、地域子育て相談センター5 箇所の運営経費等	53,792 千円
----------------------------------	-----------

【特定財源】

子育て推進交付金	12,536 千円
子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)補助金	45,902 千円
子供家庭支援区市町村包括補助事業補助金	29,485 千円
保育士研修等事業補助金	2,249 千円

【地域ごとのマイ保育園事業イメージ図】



問い合わせ先

子ども生活部 子育て支援課長 小池

電話

724-2138

件 名		鶴川第一小学校改築事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,144,840		244,321	0	678,100	215,000	7,419

【事業の背景・目的】

II 部・局別予算概要485 ページ

本事業は、鶴川第一小学校における、①老朽化対策、②学習環境向上のため改築を行うものです。2012、2013 年度に基本・実施設計が完了し、2014 年度は校舎棟改築工事（2014～2015 年度債務負担行為）の 1 年度目と体育倉庫等の整備を行います。

【事業の内容】

《鶴川第一小学校改築事業》

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
工事	校舎棟改築（2014～2015 年度） 体育倉庫等整備（2014 年度）		給食棟改築 運動場整地	体育館棟改築、植栽 第 2 運動場、歩道
解体	体育倉庫、学童		旧校舎棟、プレハブ	旧校舎棟、給食棟、体育館
備考	11 月までに新学童保育クラブ完成		4 月から新校舎使用	

《校舎棟予定規模》

延べ床面積 7,763 m² RC 造 4F 普通教室 29、特別教室 13、管理諸室、給食室、ランチルーム等

○環境やライフサイクルコストを考慮

- ・太陽光発電設備（30kw）設置、中水利用、LED 照明器具の採用やペアガラス採用等、省エネルギー化を実現します。

○災害時に備え防災機能を強化

- ・停電時は太陽光発電による電気利用を一部可能とし、体育館シャワー、屋外トイレ等を設置します。

【主な事業費】

校舎棟改築工事費 1,049,800 千円（2014～2015 年度債務負担行為 総事業費 2,624,500 千円）

改築工事監理業務委託料 14,400 千円（2014～2015 年度債務負担行為 総事業費 48,000 千円）

体育倉庫等整備工事費 45,140 千円

【主な特定財源】

学校施設整備費負担金（増築分） 91,572 千円

学校施設環境改善交付金（改築分・プール分） 152,749 千円

学校教育施設等整備事業債 678,100 千円



鶴川第一小学校完成予想図

問い合わせ先	学校教育部 施設課長 佐藤	電話	724-2174
--------	---------------	----	----------

件 名	(仮称) 忠生図書館整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
213,063		0	0	0	0	213,063

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 526 ページ

現在建替え中の忠生市民センター内に、鶴川駅前図書館に続くコミュニティ施設との複合施設内の地域図書館として、市内で 8 館目となる(仮称)忠生図書館を整備します。

【事業の内容】

○(仮称)忠生図書館の概要

場 所	忠生 3-14-2 忠生市民センター内
規 模	延床面積約 1,200 m ² 地上 3 階建ての 2・3 階部分 2 階:開架スペース 3 階:事務スペース、閉架書庫
特 色	(1)世代を超えて交流のできる図書館 (2)忠生地域密着型の図書館 (3)子ども読書活動推進計画のモデル図書館
収蔵可能冊数	100,000 冊(予定) 開架スペース 75,000 冊(一般書 50,000 冊、児童書 25,000 冊) 閉架書庫 25,000 冊

○スケジュール

2014 年度	図書資料の選定・購入・装備 (約 32,000 冊) 書架等備品購入
2015 年度	5 月開館 (予定)

【主な事業費】

図書購入費 51,429 千円
(2013～2014 年度債務負担行為事業 総事業費 101,429 千円)
書架等備品購入費 147,269 千円



問い合わせ先	生涯学習部 図書館長 尾留川	電話	728-8220
--------	----------------	----	----------

件 名		地域高齢者支援事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
110,974		0	55,139	0	500	55,335

【事業の背景・目的】

高齢者が住みなれた地域でいつまでもくらし続けるために、地域での見守り体制の強化や認知症高齢者の支援を引き続き実施していきます。2014年度は、認知症施策として、2012年9月に厚生労働省が発表した認知症施策推進 5 か年計画(オレンジプラン)において示された「早期診断・早期対応」を目的に、認知症初期支援事業を新たに実施します。

【事業の内容】

○認知症初期支援事業(新規事業)

認知症支援には、早期診断・早期対応が有効とされています。町田市では、認知症高齢者を早期の段階で専門医への受診や適切な介護サービスの利用へつなげるために、医師や臨床心理士などの医療職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を新たに設置します。認知症と思われてもなかなか受診に繋がらない高齢者の方の自宅へチームが訪問し、本人やご家族へ必要な支援を行いながら、できる限り住みなれた地域で暮らし続けられるよう、必要なサービスへとつないでいきます。

○その他の関連事業

高齢者とその家族を支援するため、相談機能の充実や見守り支援の強化を図ります。

・あんしん相談室事業

・認知症高齢者相談事業(もの忘れ相談)

・高齢者見守り支援ネットワーク推進事業

・高齢者あんしんキーホルダー事業

【主な事業費】

認知症初期支援事業委託料	20,190 千円
あんしん相談室事業委託料	70,850 千円
認知症高齢者相談事業委託料(もの忘れ相談)	11,175 千円
高齢者見守り支援ネットワーク推進事業委託料	1,970 千円
高齢者あんしんキーホルダー事業委託料	3,024 千円

【主な特定財源】

シルバー交番設置事業費補助金	35,424 千円
高齢社会対策包括補助事業費補助金	19,715 千円

問い合わせ先

いきいき健康部 高齢者福祉課地域支援担当課長 奥山

電話

724-4048

Ⅱ 部・局別予算概要

232 ページ

認知症専門医療機関

かかりつけ医

連携

認知症初期集中支援チーム

●実施内容

・受療支援

・受診困難者への訪問

・ケースアセスメント

・相談、家族支援など

●チーム員

医師・臨床心理士・認知症地域支援専門員・看護師・

高齢者支援センター・市担当職員等

件 名	市民協働・地区協議会支援事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,700		0	0	0	0	3,700

【事業の背景・目的】

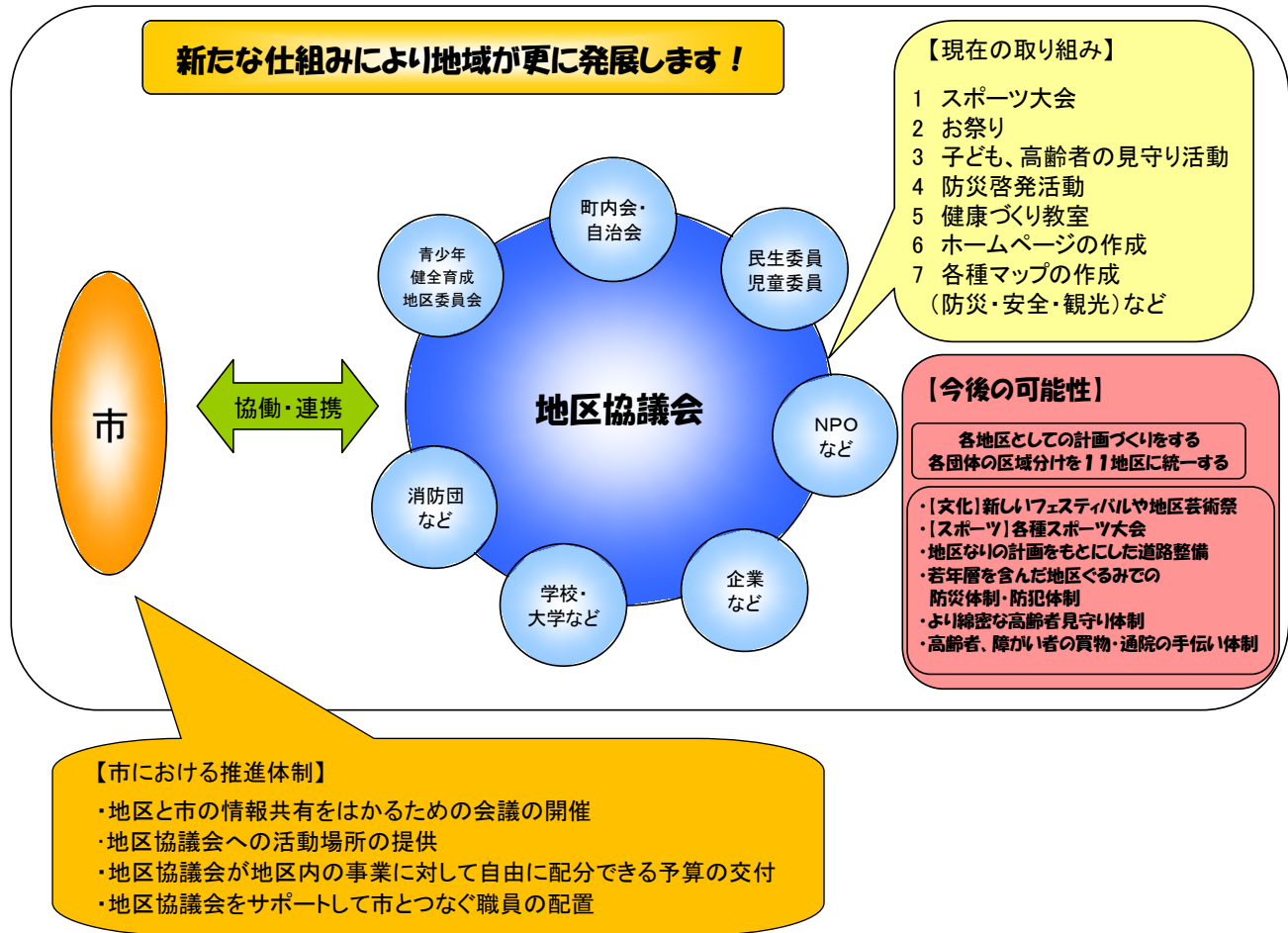
Ⅱ 部・局別予算概要

141 ページ

町内会・自治会を中心に地区内で活躍している各種団体が相互に連携し、それぞれの特性を活かしながら、地域住民の生活全体を支える仕組みづくりに取り組みます。町田市町内会・自治会連合会の地区連合会のエリア（全 11 地区）を基盤とした「地区協議会」を設立することで、協働による地域社会づくりを推進します。

「地区協議会」は地区の特性と資源を活かして多様化した課題を地区が主体となって自ら解決し、さらに地区の魅力発信および向上に取り組むことを目的としています。

さらに、地区の課題とその解決について、市などと情報を共有し、協働して取り組むことにつなげていきます。



【事業の内容】

- ・「地区協議会」が設立された地区に、事業に対する補助金を交付します。
- ・各地区において、地区協議会設立に向けた説明会や検討会を開催します。

【事業費】

地区協議会補助金 3,700 千円

問い合わせ先	市民部 市民協働推進課長 熊谷	電話	724-4362
--------	-----------------	----	----------

件 名		忠生市民センター建替事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,009,443		0	89,000	758,800	10,000	151,643
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 140・145 ページ		
地域で活動している市民団体や芸術・文化活動を行う団体などに活動の場を提供し、人と人がつながって地域を支えるまちづくりの拠点として、老朽化した忠生市民センターを建替えます。建替えにあたっては、図書館や乳幼児健診施設も備えた複合施設とします。						
【事業の内容】						
規模・構造：敷地面積 5,878 ㎡／延床面積約 4,680 ㎡ ・ 鉄筋コンクリート造 地上 3 階建て						
施設	建替前	建替後	機能拡充のポイント			
行政サービスと地域活動の窓口	260 ㎡	490 ㎡	・地域活動の拠点として地域活動室（定員 30 名）を設置 ・災害時は地域活動室に消防団分団本部を開設し、情報連絡拠点として活用			
図書施設	図書室 60 ㎡	図書館 1,210 ㎡	新たに市立図書館を設置（蔵書冊数約 10 万冊を予定）			
コミュニティ施設	ホール 他 5 室 470 ㎡	ホール 他 9 室 1,020 ㎡	・ダンス、軽スポーツ、集会等に利用できる 多目的ホールとして、規模・設備を拡充（定員：300 名） ・防音設備を備えた多目的室、会議室、和室、料理講習室を設置し、規模・設備を充実			
出会い・交流・憩いのエリア	40 ㎡	570 ㎡	・地域情報や市民活動情報の受発信の場とするための展示スペース、エントランスロビー、交流スペースを設置 ・キッズコーナー、授乳室を設置			
乳幼児健診施設	—	330 ㎡	乳幼児集団健診施設を設置			
その他	470 ㎡	1,060 ㎡	非常用発電機室（72 時間対応）、防災備蓄倉庫等を設置			
合計	1,300 ㎡	4,680 ㎡				
駐車場台数	27 台	63 台	障がい者用 2 台、思いやり駐車区画 4 台			
【事業スケジュール】						
2013 年度		2014 年度		2015 年度		
■仮設庁舎設置 ■建築工事 （1 年目/3 カ年工事）		■建築工事 （2 年目/3 カ年工事） ■忠生市民センターオープン（15 年 2 月）		■外構工事（3 年目/3 カ年工事） ■乳幼児健診業務開始（4 月） ■図書館業務開始（5 月）		
【主な事業費】						
工事請負費		914,067 千円（2013～2015 年度債務負担行為事業 総事業費 1,441,000 千円）				
仮設庁舎借上料		20,138 千円（2012～2014 年度債務負担行為事業 総事業費 57,000 千円）				
備品購入費		42,002 千円 施設開設に伴う初度調弁				
【主な特定財源】						
市町村総合交付金		89,000 千円		地域センター建替事業債		758,800 千円
問い合わせ先	市民部 市民総務課長 榎本			電話	724-4346	

件 名		成瀬コミュニティセンター建替事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
263,369		0	32,000	193,300	0	38,069
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 140 ページ		
成瀬コミュニティセンターは 1970 年(昭和 45 年)に竣工した旧小学校校舎を利用しているため、バリアフリー対応が不十分であり、老朽化の進行や耐震性能不足等から建替が強く求められています。また、防災意識の高まりや環境配慮への要請を踏まえると同時に、地域における人々のつながりを高める場を確保することも必要となっています。以上のことから「誰もが安心して使いやすい」「明るく居心地の良い」施設を整備することを目的として成瀬コミュニティセンターを建替・改修します。						
【事業の内容】						
＜所 在 地＞成瀬 2141-1						
＜規模・構造＞鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 1,921 ㎡						
＜施 設 計 画＞コミュニティ集会スペース(第 1 会議室・第 2 会議室・和室) 87 ㎡						
多目的活動スペース(多目的室 1～3・ホール・音楽室・工芸室・地域活動室) 773 ㎡						
子育て・キッズ・文庫スペース(かえで文庫・キッズエリア・授乳室) 61 ㎡						
交流・憩いのスペース(ロビー・展示スペース・フリースペース) 348 ㎡						
その他(倉庫・事務室・印刷室・トイレ等) 652 ㎡						
【事業スケジュール】						
2013 年度		2014 年度		2015 年度		
■ 基本設計 ■ 実施設計		■ 建築工事 (1 年目/2 カ年工事)		■ 建築工事 (2 年目/2 カ年工事) ■ 施設オープン(16 年 1 月)		
【主な事業費】						
工事請負費 257,741 千円(2014 年度～2015 年度債務負担行為事業 総事業費 644,352 千円)						
＜総工事費内訳＞						
建築工事費 368,096 千円						
大規模改修費 205,668 千円						
解体工事費 70,588 千円						
						
				完成イメージ		
【特定財源】						
地域センター建替事業債 193,300 千円						
市町村総合交付金 32,000 千円						
問い合わせ先		市民部 市民総務課長 榎本			電話	724-4346

件 名		玉川学園コミュニティセンター建替事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,692		0	0	0	0	9,692
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 140 ページ		
玉川学園コミュニティセンター(1974 年 7 月開設)は、地元住民を中心に文化活動の拠点として活発に利用されています。しかし、建築後 39 年を経過したことにより、施設の老朽化が顕著となり、利用者の要請に応えられなくなっています。そのため施設のあり方について市民とともに検討を進め、施設を建替えます。						
【事業の内容】						
《所在地》						
玉川学園 2-19-2						
《施設の現状》						
構 造・規 模 :鉄筋コンクリート造 地上 3 階建						
延 床 面 積 :595 m ²						
建 築 年 :1974 年竣工・1991 年増築部竣工						
諸 室 :ホール(定員 100 人 89 m ²)、 第 1 会議室(定員 21 人 40 m ²)						
第 2 会議室(定員 16 人 26 m ²)、 第 3 会議室(定員 20 人 29 m ²)						
和室(保育室)(定員 14 人 17 m ² 10 畳)、いこいの間(定員 14 人 17 m ² 10 畳)						
事務室及び児童図書室(86 m ²) 管理室(11 m ²)						
【事業スケジュール】						
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度		
■ 基本計画 策定	■ 基本計画 策定	■ 基本設計 ■ 実施設計	■ 実施設計 ■ 解体・建築工事 (1 年目/2 カ年工事)	■ 建築工事 (2 年目/2 カ年工事) ■ 施設オープン予定		
【主な事業費】						
基本計画策定委託料		4,924 千円				
測量委託料		3,435 千円				
(参考)2015 年度以降の事業費見込み						
設計委託費		40,000 千円				
解体・建築工事費		410,000 千円				
工事監理費		20,000 千円				
問い合わせ先	市民部 市民総務課長 榎本			電話	724-4346	

件 名	消えないまちだ君 (災害・停電時LED街路灯) 整備促進事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
53,391		28,393	0	0	0	24,998

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 381 ページ

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、電力供給が断たれたため街路灯が点灯せず、帰宅困難者の夜間の誘導に支障が生じました。

この大震災の経験を教訓に、市では、災害停電時に自動的に点灯する道路照明『消えないまちだ君』(特許取得済)を市内の民間企業と共同で開発しました。

夜間の停電時でも、避難道路等の安全を確保し、誰もが安全に、かつ安心して避難場所等へと通行できる空間の創出を目的として、道路照明『消えないまちだ君』の整備を進めています。

2013年度は、町田駅前通りの小田急町田駅から町田市民ホール(一時滞在施設)までの約550mの区間に13基、町田バスセンター周辺に13基、合計26基の設置を行いました。

【事業の内容】

2014年度は、町田駅前通りの町田バスセンターから三塚交差点(原町田2丁目)まで、及び市内各駅(町田・鶴川・つくし野・すずかけ台・成瀬・多摩境・玉川学園前)の駅周辺道路等に『消えないまちだ君』を合計100基設置します。

【主な事業費】

街路灯新設工事費(100基) 51,624千円

【特定財源】

防災・安全交付金 28,393千円



『消えないまちだ君』設置工事



『消えないまちだ君』設置状況
(町田駅前通り)

問い合わせ先	建設部 道路管理課担当課長 河合	電話	724-1121
--------	------------------	----	----------

件 名	緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
168,901		71,053	68,023	0	0	29,825

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 409 ページ

大規模地震の発生による道路の閉塞を防ぎ、避難や救助活動、物資の輸送が行えるように「緊急輸送道路」※¹沿道の建築物の耐震化を推進するため、耐震化に要する費用の一部を補助しています。

特に「特定緊急輸送道路」※²沿道建築物については、「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」において対象となる物件の耐震診断実施が義務化されており、重点的に耐震化を進めます。

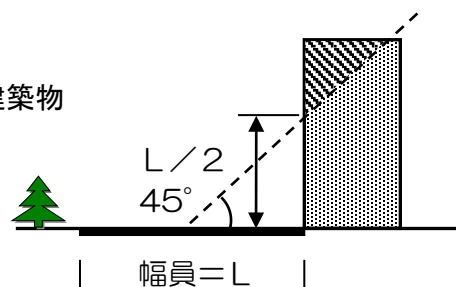
※¹ 緊急輸送道路：町田街道や鎌倉街道など、防災上重要な幹線道路で東京都が指定した道路

※² 特定緊急輸送道路（耐震診断義務化路線）：緊急輸送道路のうち、特に沿道建築物の耐震化を推進する必要がある道路

【事業の内容】

○耐震改修事業の対象になるのは、下記の条件に全て該当する建築物

- ・敷地が緊急輸送道路に接している建築物
- ・1981年5月31日以前に着工された建築物
- ・道路幅員のおおむね1/2以上の高さである建築物



○所有者・管理者等に対し、パンフレットの配布や電話及び訪問等により、耐震診断の義務化についての周知と耐震診断の実施を促します。

○所有者・管理者等に対し、随時耐震診断・設計・改修について申請に基づき補助事業を実施します。

○補助の限度額

・助成対象費用の限度額

イ 面積 1,000 ㎡以内の部分	2,000 円/㎡
ロ 面積 1,000 ㎡を超えて 2,000 ㎡以内の部分	1,500 円/㎡
ハ 面積 2,000 ㎡を超える部分	1,000 円/㎡

・助成率（事業費に対する率）

	耐震診断	耐震設計	耐震改修
緊急輸送道路（特定）	10/10	5/6（※10/10）	5/6（※9/10）
緊急輸送道路（一般）	4/5	2/3	2/3

※2015年度までの拡充措置として、国による補助を別途受けることができます。

【事業費】

耐震改修促進計画委託料	2,100 千円
緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進助成金	166,801 千円
〔内訳〕 耐震診断	23,399 千円、耐震設計 25,349 千円
耐震改修	118,053 千円（旭町一丁目、原町田五丁目他）

【特定財源】

防災・安全交付金	71,053 千円
耐震改修費補助金	68,023 千円

問い合わせ先	都市づくり部 建物住宅対策課長 市村	電話	724-4268
--------	--------------------	----	----------

災害対策

件 名	住宅耐震促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
214,177		53,263	12,032	0	0	148,882

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 417 ページ

町田市では、大規模地震発生による住宅の倒壊を少なくし、「安心して生活できるまちをつくる」ために、地震対策として住宅の耐震化を新 5 か年計画における重点事業として位置付け、木造住宅の耐震診断や耐震設計および工事の支援、分譲マンションの耐震診断の支援などの事業により耐震化を推進しています。

【事業の内容】

- 本制度による診断、助成の対象となる建物は、市内にあり、1981 年 5 月 31 日以前に着工し、自らが居住している木造住宅、分譲マンションです。
- 簡易耐震診断（木造住宅）は、無料で受けることができます。
- 耐震診断（木造住宅は精密耐震診断）、地震に対して安全な構造とするための耐震設計、耐震改修工事、耐震シェルター等設置に対し、それぞれに要した経費の一部を市が助成します。
- 各地域で耐震相談会等を実施し、耐震化の必要性和助成制度の周知など、普及啓発を行っています。
- ※その他、木造住宅耐震アドバイザー派遣事業、分譲マンション耐震アドバイザー助成事業について助成事業があります。
- ※高齢者世帯の耐震改修工事・耐震シェルターは、上限額に上乗せがあります。

項 目	内 容	予定件数
木造住宅簡易耐震診断事業	市が診断士を派遣（無料）	200 件
木造住宅精密耐震診断助成事業	経費の 1/2	上限 10 万円 90 件
木造住宅耐震設計助成事業		上限 10 万円 50 件
木造住宅耐震改修工事助成事業		上限 50 万円 40 件
木造住宅耐震シェルター等設置助成事業		上限 20 万円 5 件
分譲マンション耐震診断・設計助成事業	経費の 2/3	上限 500 万円 3 件
分譲マンション耐震改修工事助成事業		上限 2,000 万円 2 件

【事業費】

- 住宅耐震促進委託料 20,897 千円
（市が実施する簡易診断、耐震アドバイザー）
- 住宅耐震促進助成金 193,280 千円
（精密診断、耐震設計、改修工事助成）

【特定財源】

- 防災・安全交付金 53,263 千円
- 住宅費補助金 12,032 千円



問い合わせ先	都市づくり部 建物住宅対策課長 市村	電話	724-4268
--------	--------------------	----	----------

件 名	污水管渠地震対策事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
260,000		54,000	2,700	153,300	50,000	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 438・439 ページ

首都直下地震の発生が懸念される中、管渠の耐震化と多くの避難者が集まる避難施設での衛生的な生活環境の確保は急務となっています。

そこで、管渠の耐震化工事を進めるとともに、避難施設にマンホールトイレシステムを整備し、被災時の市民の健康を守り、衛生的な生活環境を確保します。

【事業の内容】

○「町田污水幹線」の耐震化

1996 年度以前に敷設した污水管を随時調査し、耐震基準を満たしていない箇所の耐震化を行います。

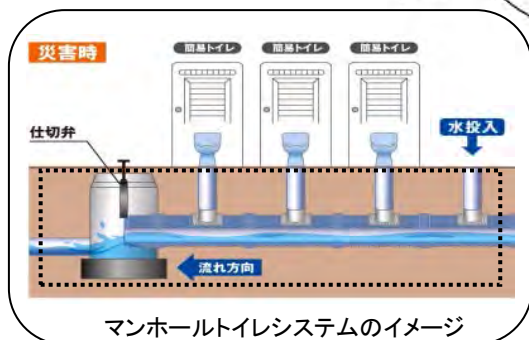
2014 年度は 2012 年度の耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない町田污水幹線の一部の耐震化を行います。

○マンホールトイレシステムの設置

忠生第三小学校・大蔵小学校にマンホールトイレシステムを設置します。

※ 1 箇所あたり 10 基のマンホールトイレシステムを整備します。

- : 1996 年度以前に敷設の污水幹線
- : 耐震診断箇所
- : 実施設計箇所
- : 耐震化工事箇所
- : マンホールトイレシステム設置箇所



【事業費】

町田污水幹線耐震診断調査設計委託料(森野～根岸)	50,000 千円
町田污水幹線耐震化工事費(南成瀬地区)	170,000 千円
町田污水幹線耐震化工事実施設計委託料(高ヶ坂地区)	10,000 千円
マンホールトイレシステム設置工事費	30,000 千円

【特定財源】

下水道使用料	50,000 千円
防災・安全交付金	54,000 千円
下水道費補助金	2,700 千円
下水道事業債	153,300 千円

問い合わせ先	下水道部 下水道整備課長 原	電話	724-4296
--------	----------------	----	----------

件 名	雨水管渠整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
424,800		92,300	4,615	257,000	0	70,885

【事業の背景・目的】

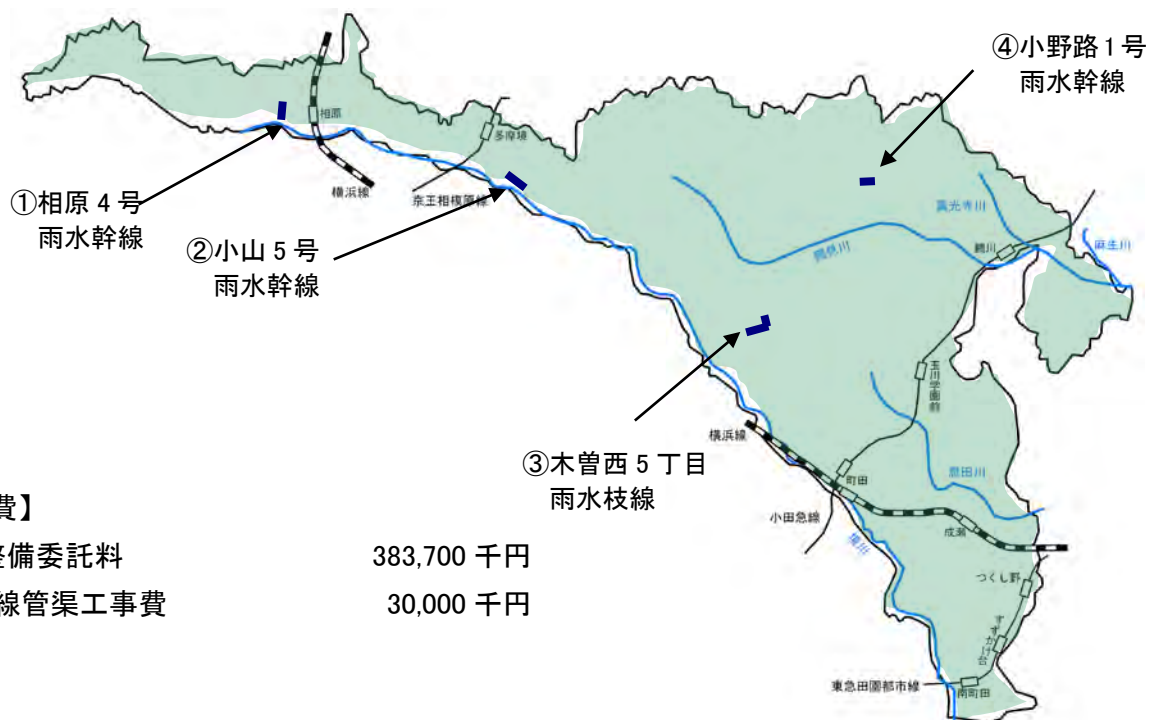
Ⅱ 部・局別予算概要 438・439 ページ

近年、多発している想定外の集中豪雨や大型台風による都市型の浸水被害が問題となっており、その対策が求められています。

そこで、過去の浸水被害箇所から対策が必要な 19 地区を選定し、2016 年までに、その内の 5 地区について計画的に雨水管の整備を行うとともに、道路整備事業にあわせた雨水管整備も行い、浸水被害の軽減を図ります。

【事業の内容】

- | | |
|-----------------------|-----------|
| ①相原 4 号雨水幹線工事(道路整備関連) | 延長 100m |
| ②小山 5 号雨水幹線工事 | 延長 100m |
| ③木曽西 5 丁目雨水枝線工事 | 延長 325m |
| ④小野路 1 号雨水幹線工事 | 延長 500m |
| | 合計 1,025m |



【主な事業費】

管渠等整備委託料	383,700 千円
幹線・枝線管渠工事費	30,000 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金	92,300 千円
下水道費補助金	4,615 千円
下水道事業債	257,000 千円

問い合わせ先	下水道部 下水道整備課長 原	電話	724-4296
--------	----------------	----	----------

件 名	防災行政無線デジタル化事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
301,321		53,546	0	245,100	0	2,675

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 155 ページ

町田市の防災行政無線は、移動系が 1987 年度、固定系が 1991 年度に整備されたもので、機器の老朽化が進んでいます。そして、国から現行のアナログ方式の防災行政無線から、できるだけ早期にデジタル方式に移行することも求められています。

このため、固定系・移動系の親局及び中継局の整備を行います。子局や移動系無線についても、既存機器の有効活用を図りながら、劣化の状態により順次更新を行います。

○防災行政無線のデジタル化の主なメリットとして以下の 3 点が挙げられます。

- ・ノイズが入りにくくなるため通信品質の向上が見込める
- ・同じ周波数帯において複数のチャンネルを設けられるため、
親局から子局に向けて放送中でも子局から親局へ情報伝達が可能
- ・通信の秘匿性の向上

【事業の内容】

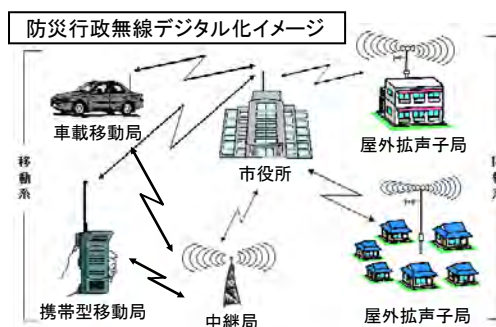
既存の固定系無線局(244 局)・移動系無線局(191 台)を順次デジタル化するとともに、中継局や屋外拡声子局の増設等により、無線難聴地帯を解消していきます。

		～2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
方式		アナログ	アナログ デジタル	アナログ デジタル	アナログ デジタル	アナログ デジタル	アナログ デジタル	
事業内容	固定系	2009 ～2012 年度 調査・設計	親局、中継局、 屋外拡声子局 66 局		屋外拡声子局 92 局	屋外拡声子局 91 局	屋外拡声子局 91 局	デ ジ タ ル 化
	移動系			親局、中継局、 移動系無線 191 台				

【主な事業費】

移動系親局・中継局・移動系無線 191 台デジタル化更新・新設

293,253 千円



【特定財源】

防衛施設周辺民生安定施設整備費補助金 53,546 千円
消防施設整備事業債 245,100 千円

問い合わせ先	市民部 防災安全課長 皆見	電話	724-3075
--------	---------------	----	----------

件 名	中心市街地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
41,275		0	0	0	0	41,275

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要

404・406 ページ

町田駅周辺の魅力をより一層向上させるため、「まちだ未来づくりプラン」に掲げた「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」の実現に向けて、「交通結節点としてのターミナル機能の強化」、「新たな賑わいの創出」及び「誰もが快適に歩くことができるまちづくり」について検討を進めます。

【事業の内容】

○中心市街地整備計画の策定

「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」に基づき、整備構想を実現するため土地利用や交通ターミナル整備などの具体的な事業内容を示した整備計画を 2014 年度から 2 カ年をかけて策定します。

○重点検討地区における整備内容の検討

小田急町田駅周辺地区、原町田一丁目地区、原町田三丁目地区の事業化に向けた検討を行います。

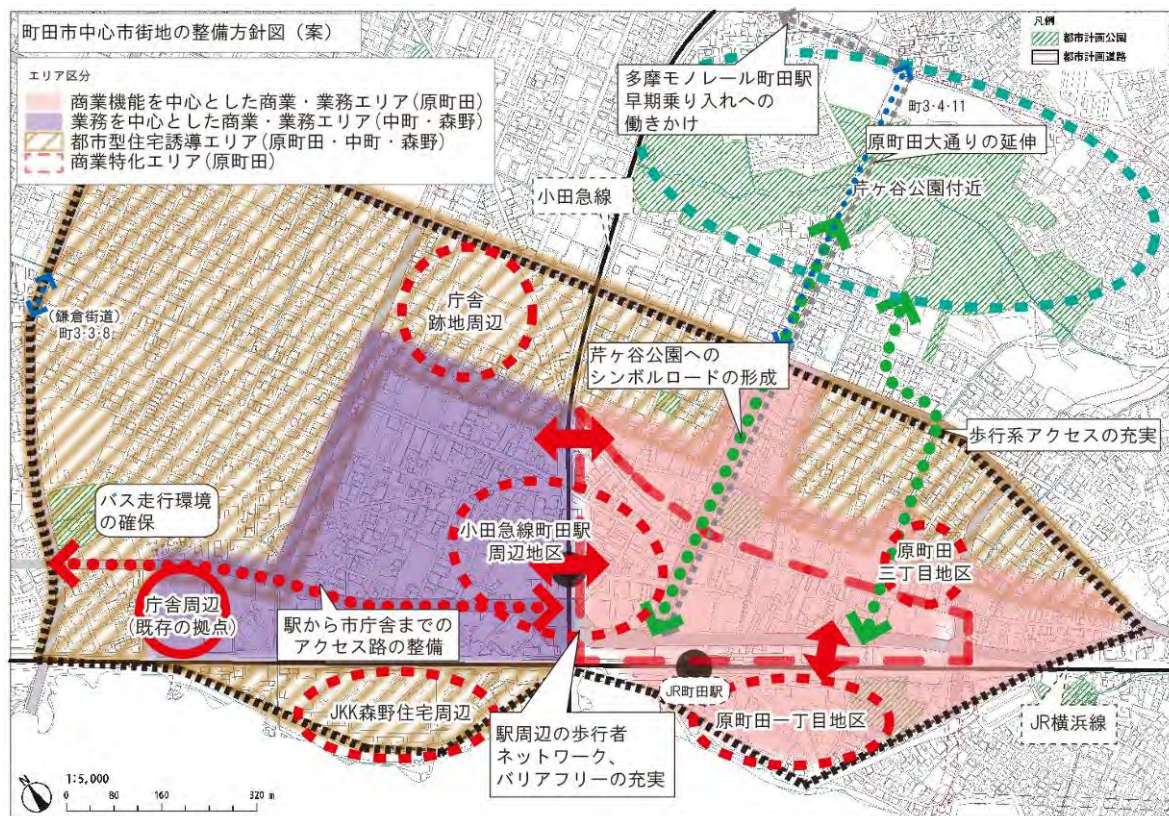
○中心市街地土地利用制度の導入

「土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策」に基づき、商業地域の賑わいや魅力的な歩行者空間の創出を実現するため、土地利用制度の導入を検討します。

【主な事業費】

中心市街地整備計画策定委託料 30,000 千円

中心市街地土地利用制度導入委託料 10,000 千円



問い合わせ先	都市づくり部 地区街づくり課長 萩野 都市政策課長 須原	電話	724-4266 724-4248
--------	---------------------------------	----	----------------------

件 名		創業支援・企業誘致推進事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
44,467		0	0	0	4,620	39,847
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 323 ページ		
町田市は、市内経済の活性化を図るため、2013 年 1 月に(株)町田新産業創造センターを設立し、同年 4 月から町田新産業創造センターへの入居者及び地域の中小企業を対象とした専門的、効果的な支援を開始しました。 併せて、2013 年度から企業誘致制度を開始し、町田市に拠点を置くメリットを市内外の企業に情報発信しています。 これらの取組みにより、町田市の産業の将来に向けた持続的な発展を目指していきます。						
【事業の内容】						
○販路拡大支援事業						
地域の中小企業者の販路拡大を図るため、(株)町田新産業創造センターが行う次の事業を補助します。						
・企業同士のマッチングイベントや商談会						
・経営支援に資するセミナー等						
・経営に関する各種相談対応						
○産学官連携事業						
地域の中小企業者と大学等との連携による事業機会の拡大を図るため、(株)町田新産業創造センターが行う次の事業を補助します。						
・事業者及び大学等への情報交換の機会の提供						
・産学官連携に資するセミナー等の開催						
○企業誘致推進事業						
市内の既存企業の事業拡大及び雇用の創出を図るため、奨励金を交付し、企業を誘致します。						
○町田新産業創造センターのオフィスへの企業誘致						
創業支援フロアに入居する事業者に対して、販路拡大のための支援ができる企業に奨励金を支払うことで、当該センターのオフィスへの企業の誘致を促進します。						
【主な事業費】						
販路拡大支援事業補助金		10,000 千円				
産学官連携事業補助金		3,000 千円				
企業誘致推進事業委託料		4,700 千円				
企業等立地促進地区奨励金		6,500 千円				
(2013 年度～2018 年度債務負担行為事業)						
町田新産業創造センター借上料		16,200 千円				
(2012 年度～2017 年度債務負担行為事業 総事業費 86,550 千円)						
問い合わせ先		経済観光部 産業観光課長 新田			電話	724-2944

件 名	にぎわい空間創出推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
41,311		0	0	0	0	41,311

【事業の背景・目的】

市庁舎跡地は、庁舎の解体工事終了後、町田市庁舎跡地活用基本構想で示した活用の理念「新たな賑わいの創出」を実現するため、2013 年度内の工事完了を目指し、現在、芝生の広場を整備中です。

この広場では、フリーマーケットやスポーツイベントなどの賑わいを生み出すイベントを開催します。また、一面に緑が広がる大空間として、市民や来街者の憩いの場とします。

【事業の内容】

○中心市街地の活性化を目的とした、賑わいを創出する各種イベントを広場において実施します。また、イベントを実施していない時は、広く市民や来街者に開放します。

○広場のオープンを記念して、オープニングイベントを実施します。

○管理、運営する団体に対し、一部補助を行い、市庁舎跡地を一体的に貸付けます。

【広場の概要】

○約 5,700 ㎡の天然芝生の広場として、2014 年 5 月にオープン予定（4 月は芝生の養生期間となります）。

○男・女トイレ、みんなのトイレ、授乳室、ベンチを設置。

＜市庁舎跡地（整備図面）＞



＜2013 年 12 月開催のイベント時の様子＞



【主なスケジュール】

2014 年 5 月 オープニングイベントを実施

2014 年 12 月 クリスマスイventを実施

【事業費】

にぎわい空間創出推進事業補助金 23,000 千円

にぎわい空間創出イベント企画運営委託料 18,311 千円

問い合わせ先	経済観光部 産業観光課 中心市街地活性化推進担当課長 池ノ内	電話	724-3296
--------	--------------------------------	----	----------

件 名		循環型施設整備事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
327,995		29,000	0	0	7,268	291,727

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要346 ページ

町田市では、ごみとして処理する量を 2020 年度までに 40%削減することを全体目標としています。そのため、生ごみ処理機で 3 千トン进行堆肥化するとともに、新たなごみの資源化施設の整備(2020 年度稼働予定)を進めています。これにより「燃やせるごみ」のうち 1 万 9 千トン进行バイオガス化、「プラスチックごみ」は容器包装リサイクル法に基づく資源化を行い、ごみを減量し、資源化率を積極的に向上させることで、二酸化炭素(CO₂)の半減を目指しています。

新たなごみの資源化施設のうち、熱回収施設等は町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設は市内 3 箇所に分散して整備します。

【事業の内容】

2014 年度は、プラントの仕様に関する詳細な検討、環境影響評価関係の手続き、新たなごみ処理施設の運営形態等に関する検討を中心に行います。

また、各施設建設地の周辺住民代表で構成する「ごみの資源化施設地区連絡会」や、学識経験者及び町内会自治会連合会地区代表で構成する「町田市資源循環型施設関連まちづくり会議」を中心に、市民と協働して、安心かつ安全な施設を整備するための検討を進めます。

【整備する施設の概要】

○熱回収施設等 町田リサイクル文化センター敷地内(下小山田町 3160 番地)

施設整備費 約 200 億円

所要面積 約 28,000 m²

《施設概要》

焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設を 1 箇所に一体整備します。

2020 年度までにごみとして処理する量を 40%削減することを全体目標とするため、焼却施設は現施設(476t/日)の約 6 割の施設規模とします。

- ・焼却施設 258t/日(2 炉×129t/日)ストーカ炉 高効率発電(17%以上)
排ガスの処理には最新の技術を導入します。
- ・バイオガス化施設 50t/日 機械選別、高温・乾式
生ごみを資源化し、発酵残渣は焼却施設の補助燃料とします。
- ・不燃・粗大ごみ処理施設 47t/日

○資源ごみ処理施設

①相原エリア(相原町 3881 番地)

②上小山田エリア(上小山田町・詳細な場所を調整中)

③リレーセンターみなみ(鶴間 467 番地 5)

施設整備費 約 58 億円(3 箇所合計)

所要面積 約 11,700 m²(1箇所当たり・「リレーセンターみなみ」は除く。)

【分散配置の考え方】

①収集車の台数や移動距離を削減し環境への負荷軽減が図れること、②施設の代替性と補完性を備えられること、③地域住民のごみの資源化に関する意識の向上を促す拠点等とするため、既存施

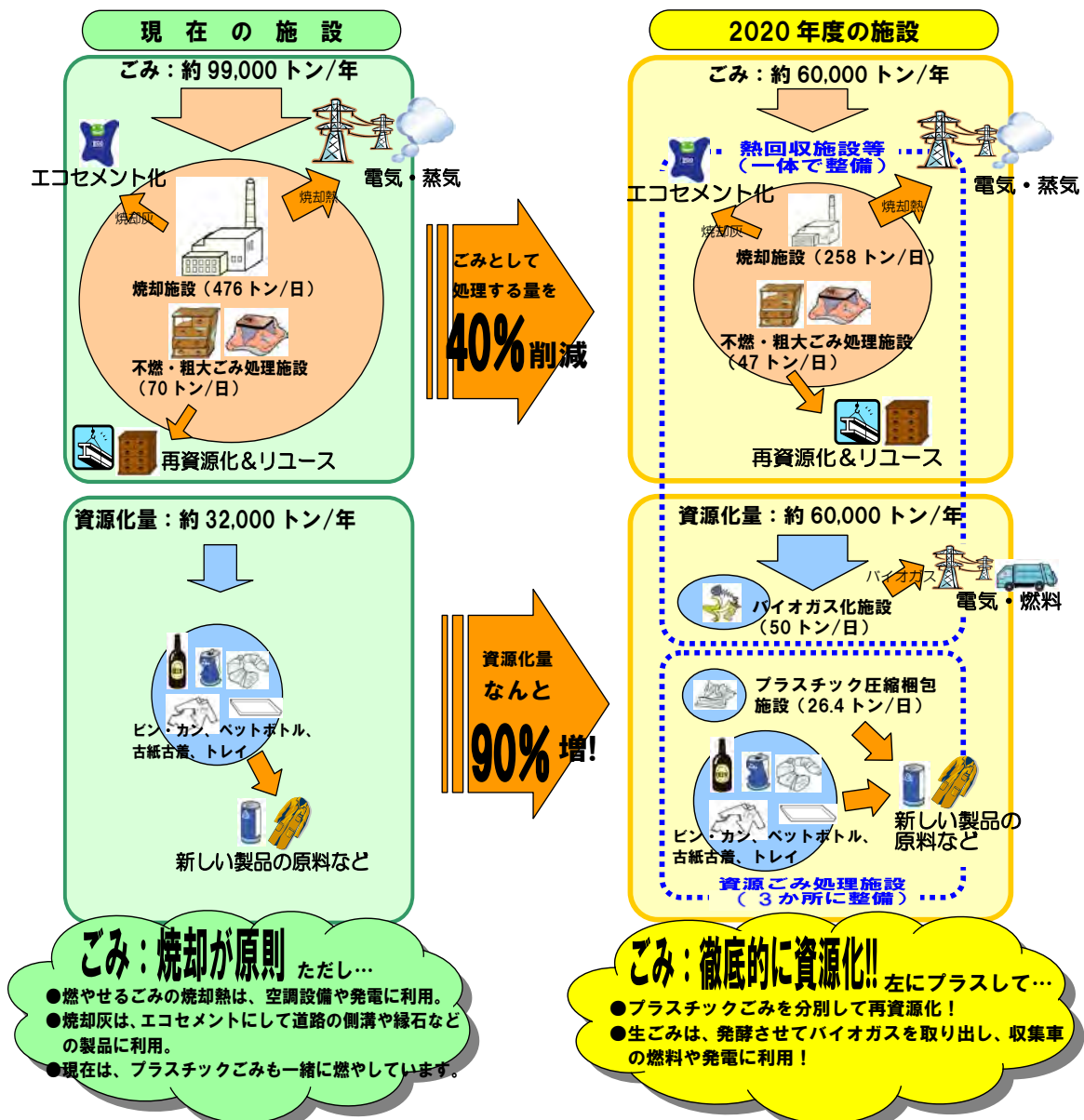
設の「リレーセンターみなみ」を含め、市内 3 箇所に分散化し整備します。

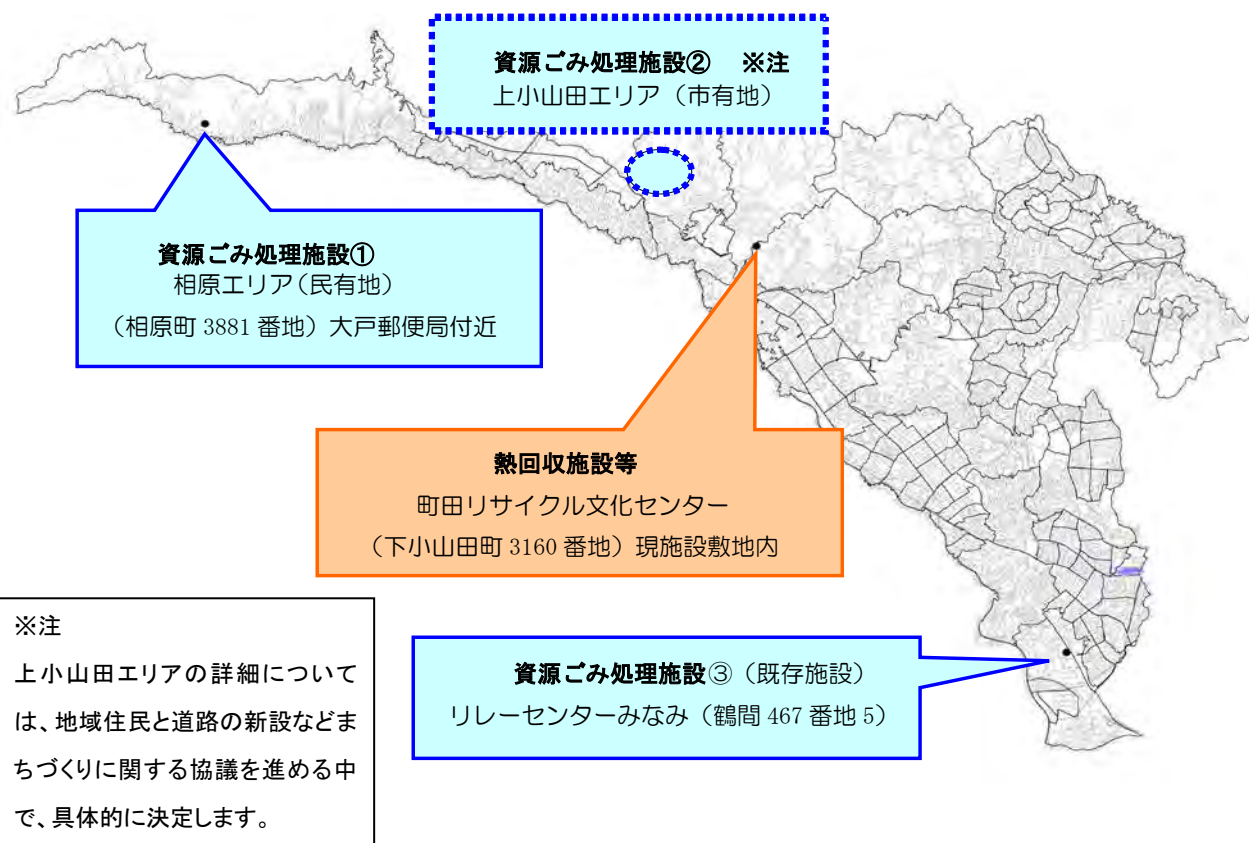
《施設概要(3 箇所合計)》

- ・プラスチック圧縮梱包施設 26.4t/日[リレーセンターみなみ(5t/日)を含む。]
- ・カン選別処理施設 6.4t/日
- ・ビン選別処理施設 18.8t/日
- ・ペットボトル圧縮梱包施設 5.8t/日
- ・トレイ・紙パック貯留場所
- ・有害ごみ(乾電池・蛍光灯等)貯留場所
- ・製品プラスチック貯留場所
- ・使用済小型電子機器等貯留場所

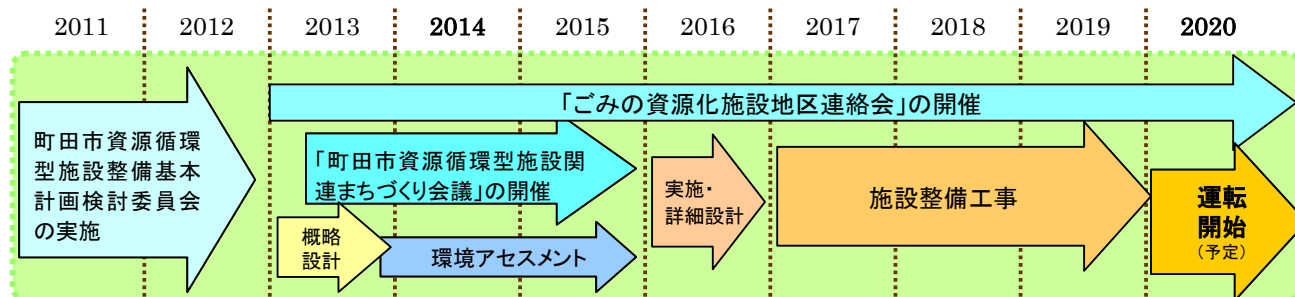
※既存施設である「リレーセンターみなみ」には、プラスチック圧縮梱包施設(5t/日)を整備します。

こんなに変わる、ごみの資源化！





○施設整備スケジュール



【主な事業費】

環境影響評価委託料（町田リサイクル文化センター）	96,758 千円
（2013～2015 年度債務負担行為事業 総事業費	154,441 千円）
自然環境調査委託料（相原エリア）	22,680 千円
測量委託料（相原エリア、上小山田エリア）	82,220 千円
資源循環型施設整備事業計画策定支援委託料	25,704 千円
施設運営方法調査委託料	12,096 千円

【主な特定財源】

循環型社会形成推進交付金	29,000 千円
廃棄物減量再資源化等推進整備基金	7,268 千円

問い合わせ先	環境資源部 循環型施設整備課長 水島	電話	724-4384
--------	--------------------	----	----------

件 名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
13,893		0	0	0	0	13,893

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要 406 ページ

鶴川駅は、一日約 7 万人の乗降客を有する駅です。1980 年代から実施されてきた土地区画整理事業により、駅前広場や道路などが整備されました。その後、約 30 年以上が経ち、北口広場については、交通量が集中し、交通渋滞の一因になっています。一方で、南口は下水道の未整備や道路が狭いなど土地の有効活用が進んでおりません。

このため、鶴川駅周辺の交通利便性の向上と良好な住環境の形成を目指します。

【事業の内容】

駅前広場については、南北における交通処理の機能分担や適正規模などの検討を進め、基本計画を策定します。また、南口については、「鶴川駅南側街づくりビジョン」に基づき、土地利用、道路及び駅前広場など具体的な整備内容を地権者や町内会の方々と市民協働によって検討します。

【主な事業費】 鶴川駅周辺街づくり検討委託料 11,502 千円

○ 街づくりビジョン(抜粋)

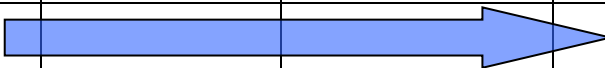
～ 駅近で緑豊かな快適な街 ～

- ・ 駅前の交通利便性を享受できる街を創ります。
- ・ 暮らしやすい人が快適で安全な生活ができるよう、道路空間や下水道などの基盤を整えます。
- ・ 身近な水と緑を活かした環境づくりを目指します。



問い合わせ先	都市づくり部 地区街づくり課長 萩野	電話	724-4266
--------	--------------------	----	----------

件 名		地域コミュニティバス運行事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
130,503		0	50,262	36,100	285	43,856
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 408 ページ		
公共交通不便地区に地域コミュニティバスを運行することで、地域住民の移動の足を確保するとともに、高齢者や障がい者等が利用可能な公共交通サービスの拡充を図るため、地域住民やバス事業者と行政が協働してコミュニティバスを運行します。 また、コミュニティバスの利用を促進することで、自動車の利用を抑制し、環境負荷の軽減を図ります。						
【事業の内容】						
○玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートの運行開始に伴う、道路・バス停車場等の走行環境を整備していきます。 ○玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートの運行に必要な小型バスを購入します。 ○市内の公共交通不便地区を解消するため、コミュニティバスの運行を行っているバス事業者に対し、運行経費の一部を補助します。						
						
玉ちゃんバス				「玉ちゃんバス」南ルート図		
【主な事業費】						
玉川学園コミュニティバス走行環境整備工事設計委託料				4,104 千円		
玉川学園コミュニティバス走行環境整備工事費				48,168 千円		
玉川学園コミュニティバス車両購入費(2 台)				63,874 千円		
町田市地域コミュニティバス運行事業補助金				14,000 千円		
				(玉川学園 8,000 千円、金森 6,000 千円)		
【主な特定財源】						
地域福祉推進包括補助事業費補助金				22,262 千円		
市町村総合交付金				28,000 千円		
地域コミュニティバス導入整備事業債				36,100 千円		
問い合わせ先		都市づくり部 交通事業推進課長 野田			電話	724-4260

件 名		胃がんリスク検診（ＡＢＣ検診）の拡充				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
196,158		0	0	0	19	196,139
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部・局別予算概要 243 ページ		
胃がんを含む胃疾患の予防を推進するために、2013 年 10 月から 55 歳以上 64 歳以下の方を対象に胃がんリスク検診(ABC検診)を開始しました。 2014 年度はより多くの方が検診を受けられるよう、対象年齢を 35 歳以上、実施期間も町田市成人健康診査と同時期の 5 月から翌年 2 月までに拡大します。						
【事業の内容】						
採血によってヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無、胃粘膜の萎縮度を検査し、胃がんを含む胃疾患に罹るリスクを ABCDの群で判定します。						
検査項目	ヘリコバクター・ピロリ抗体、ペプシノゲン					
対象者	2014 年度末年齢 35 歳以上					
受診方法	市内協力医療機関に直接申し込み。1 回のみ受診可能。					
受診期間	2014 年 5 月～2015 年 2 月(予定)					
実施場所	市内協力医療機関 (※町田市医師会加入の検診受託医療機関)					
受診者負担金	800 円 (但し、2015 年 3 月末年齢 40 歳以上の 40・45・50・55・60 など、5 歳刻みの年齢に該当する方及び生活保護受給者は無料)					
周知方法	広報まちだ、町田市ホームページ、市民センター等市内各施設への案内チラシの設置、町田市成人健康診査受診券への表示					
【胃がん等疾患のリスク判定】						
	A 群	B 群	C 群	D 群		
ヘリコバクター・ピロリ抗体	－(陰性)	＋(陽性)	＋(陽性)	－(陰性)		
ペプシノゲン	－(陰性)	－(陰性)	＋(陽性)	＋(陽性)		
胃粘膜の状態	正常	軽度萎縮	中程度萎縮	高度萎縮		
胃疾患のリスク	低				高	
【主な事業費】						
ABC検査委託料 191,333 千円						
問い合わせ先	いきいき健康部 健康課長 樋口			電話	724-5075	

件 名		臨時福祉給付金給付事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,023,673		1,023,673	0	0	0	0
				Ⅱ 部・局別予算概要 190 ページ		
【事業の背景・目的】 2014年4月から消費税率が8%へ引き上げられることに伴い、所得の低い方々に対する負担緩和を目的として、国の補助を受けて臨時福祉給付金を支給します。						
【事業の内容】 ○事業の実施時期・期間 2014年7月(申請受付開始)から6ヶ月 ○給付金の内容 ・基本分 2014年1月1日を基準日として、町田市に住民登録されている者(外国人含む)のうち、市民税が課税されていない者(※次のア、イの該当者を除く)1人につき10,000円を支給します。 ※ア 市民税が課税されている者の扶養親族等 イ 生活保護法に基づく被保護者等 ・加算分 基本分該当者のうち、老齢基礎年金の受給者等1人につき5,000円を加算して支給します。 ○支給対象者数(推計) ・基本分対象者 69,599人 ・加算分対象者 33,577人						
【主な事業費】 臨時福祉給付金 863,875千円 ・算出根拠 基本分 69,599人×10,000円 加算分 33,577人×5,000円 事務費 159,798千円 ・臨時福祉給付金業務委託料 99,598千円 (システム構築、申請書等発送、受付、確認、振込みデータ作成、問合せ応答業務) ・郵便料 41,656千円 ・口座振替手数料 12,880千円						
【特定財源】 臨時福祉給付金事業費補助金(国 10/10)						
問い合わせ先		地域福祉部 福祉総務課長 中村			電話	724-4431

件 名		子育て世帯臨時特例給付金給付事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
512,218		512,218	0	0	0	0
				Ⅱ 部・局別予算概要 190 ページ		
【事業の背景・目的】						
2014年4月から消費税率が8%へ引き上げられることに伴い、子育て世帯に対する負担緩和および消費の下支えを図ることを目的として、国の補助を受けて子育て世帯臨時特例給付金を支給します。						
【事業の内容】						
○事業の実施時期・期間						
2014年7月（申請受付開始）から6ヶ月						
○給付金の内容						
・支給対象者 ※下記の要件にいずれも該当するもの						
ア 2014年1月1日を基準日として、平成26年（2014年）1月分の児童手当の受給者						
イ 平成25年（2013年）の所得が児童手当の所得限度額未満の者						
・対象児童						
支給対象者が監護等を行う平成26年（2014年）1月分の児童手当の対象となる児童						
（※次のア、イの該当者を除く）						
※ア 臨時福祉給付金の対象者						
イ 生活保護法に基づく被保護者等						
・給付額						
対象児童1人につき10,000円						
○支給対象者数（推計）						
42,180人						
【主な事業費】						
子育て世帯臨時特例給付金		421,800千円				
・算出根拠		42,180人×10,000円				
事務費		90,418千円				
・子育て世帯臨時特例給付金業務委託料		74,147千円				
（システム構築、申請書等発送、受付、確認、振込みデータ作成、問合せ応答業務）						
・郵便料		9,206千円				
・口座振替手数料		5,058千円				
【特定財源】						
子育て世帯臨時特例給付金事業費補助金（国 10/10）						
問い合わせ先	地域福祉部 福祉総務課長 中村			電話	724-4431	

件 名		町田市民ホール改修事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
513,915		17,596	0	212,200	0	284,119

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部・局別予算概要

167 ページ

町田市民ホールの躯体は竣工後 40 年が経過し老朽化が進んでおり、2012 年 12 月に実施した非構造部材耐震調査で「直ちに落下の危険性はないが耐震化が必要」との指摘がありました。同館は、多くの方が来館する施設であるとともに、「町田市地域防災計画」上、帰宅困難者の一時滞在施設として位置づけられています。市民の安全性を確保するため、改修工事を行います。また、安定した舞台運営を行うための音響ならびに照明設備の改修も行います。

【事業の内容】

○工事内容

工事名	主な工事内容
①非構造部材耐震改修	- 客席天井の補強 - カーテンウォールガラスの補強
②維持保全改修	- 屋上防水 - 外壁補修 - 内壁のひび補修
③舞台音響・照明設備工事	設備の修繕・交換と天井設置機材の補強
④レストラン改修	- 厨房内備品撤去とクリーニング - 入口扉の改修とテラス席の新設

○全体スケジュール

	2013 年度						2014 年度											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工 事	← 設計委託期間 →													← 改修工事 →				
施設運営														← 全館休館 →				

【事業費】

大規模改修工事設計委託料

13,608 千円

（2013～2014 年度債務負担行為事業 総額 19,440 千円）

大規模改修工事請負費

477,544 千円

大規模改修工事監理委託料

22,763 千円

【特定財源】

防災・安全交付金

17,596 千円

文化施設整備事業債

212,200 千円

問い合わせ先

文化スポーツ振興部 文化振興課長 唐澤

電話

724-2184

